

令和3年度事業計画書 —グループホーム白楽荘みくいの里—

テーマ：自然災害や感染症対策により、入所者・利用者の安心・安全な望む暮らしの支援と地域住民と支え合う仕組みづくりを目指す

サブテーマ：地域の中で共に暮らし続け、充実した毎日を送ることができるよう生活をする

1. 利用者の心身機能に応じ支援することで、安心・安全な生活が送ることができる

- ①家族・地域との繋がりが感じられる手段で交流を図る。(外出・面会・SNS通信など)
- ②認知症の理解の下、本人主体の介護が、尊厳の保証として実現するレク・余暇活動の充実。
(個人に応じたリハビリを含むアプローチの効果的工夫と実施)
- ③安心感を意識して不安なく暮らせる空間づくり。(減災・感染予防への対策・早期対応)

2. 一人の人としての尊厳が守れる認知症ケアを継続する

- ①ケアプラン計画作成の内容から、利用者が自信の持てる生活支援を行う。
- ②みくいの森クリニックや医療機関と連携し、健康面・精神面の安心・安定を提供する。

3. 働きやすい職場作り

- ①介護スタッフの職務能力に応じた研修の参加を促し、専門性を高めると共に、ケア会議等を通し、よりよい認知症ケアの対応力の向上に努める。
- ②チームスローガンを掲示してチーム目標を意識する。組織内の人間関係を円滑に保つため、出来る限りの対話に努めて、お互いが理解し認め合い・支え合えるチームを作る。
- ③感染症・自然災害発生時の対応ができるための勉強会・訓練・取り組みを随時、定期的に行う。